

「市民活動フェスタ2022」開催!!

～今年も、コロナ禍を踏まえ、オンラインで動画配信も予定～

市民活動サポートセンターで開催する、市民活動フェスタ!

参加団体との打ち合わせを行いながら、準備を進めています。今年は2日間の開催で、26団体が参加し、子どもから大人まで楽しめる講座、ワークショップ、展示などを予定しています。

普段、市民活動と接点がない方、興味はあるけれどどんな活動をしているか知りたい方など、この機会にぜひご来場ください♪

日時：令和4年7月2日（土）13時～19時

3日（日）10時～15時

会場：松本市市民活動サポートセンター、松本市大手公民館2階



お気軽にお越し
ください!お待ち
しています。

市民活動セミナーを開催します

昨年度開催できなかった、市民活動セミナーを下記の日程で開催します。なお、「ファシリテーション入門講座」(定員20名)は、まだ若干の空きがありますので、ご希望の方はお申し込みください。

経験豊富な講師陣から学び、新たな自分を発見し、新しいスタートをきりませんか!

【日程】①5月18日：クラウドファンディング講座 講師：遊覧潜水 波多腰 遥氏

②5月25日：Instagramを活用した情報発信講座 講師：Skima 信州 代表 山本 麻綾氏

③6月1日：第1回ファシリテーション入門講座 講師：NPO 法人 SCOP 主席研究員 北村 大治氏

④6月8日：第2回ファシリテーション入門講座 //

【時間】どの回も19:00～21:00 【会場】市民活動サポートセンター

【申込み・問合せ】市民活動サポートセンター TEL: 0263-88-2988 へご連絡ください。

『ふれあいサロン春』を開催しました♪

3月17日(木)「ふれあいサロン春」を開催しました。午前中は障害者就労支援施設の方が交流を兼ねた販売会を行いました。今回は新たな団体も加わり、「てくてく」「ふれっ手」「シード事業所」「マーメイドタバン」の4団体が参加し、各施設手作りの手芸品、いなり寿司、お弁当や焼き菓子などを販売しました。



午後の時間は松本市内在住の木島知草さんが人形劇に取り組む姿を描いた25年前のドキュメンタリーDVDの上映が行われました。今回のふれあいサロンも和気あいあいとした楽しい会になりました。

次回のふれあいサロンは、7月14日(木)に開催する予定です。

参加団体も随時募集しています。皆さまお気軽にご参加ください♪

Close Up!

信州子どもホスピスプロジェクト

代表者：白鳥 信博

HP：https://children-hospice.com/

Facebook：信州子どもホスピスプロジェクト

子どもホスピスという施設をご存知でしょうか？

一般的にホスピスと言えば、治療困難になった成人が静かに最後の時を迎えるところというイメージがありますが、子どもホスピスは、限りある命と向き合う子どもと家族が家庭的な環境の中で共に過ごすことができる、明るく楽しい施設です。

現在、子どもホスピスは横浜と大阪の2カ所にあります。息子さんを亡くされた経験から、松本市に施設を設立するための活動をしている「信州子どもホスピスプロジェクト」代表の白鳥信博さんにお話をうかがいました。

「2020年9月に19歳の息子を亡くしました。最期を病院で迎えるか自宅で迎えるかと問われ、迷うことなく自宅での看取りを選びました。私の自宅はバリアフリーになっていて、車いすが入り、介護用のベッドや医療機器を設置することができました。しかし、家庭環境や住宅環境などが理由で介護用品を揃えることが難しいご家庭も多くあります。看病したいのに家庭の都合で看れないご家庭のために、看護師や保育士など知識豊かなスタッフが常駐し、余命宣告を受けた子どもの心と体のサポートを行いながら穏やかな時間を過ごせる、自宅と病院との



中間施設を作ろうと思いました。

主な活動はチャリティーコンサートや講演会、フォーラム、シンポジウムなどの開催（いずれもオンライン）です。

最初は知名度が低かったのですが、SNS等の発信により講演会は60名の参加がありました。

また、『ゆうきの会』を開催し、大切な人を亡くされた方々の悲しみや思いを語り合い、参加者皆で共有することで、悲しみと向き合いながら生きていく一助となることを目指しています。

現在の課題は、行政の中で子どもホスピスに関する枠組みが無いために公的な支援を受けることが難しく、子どもホスピス運営や設立に関わる資金を寄附に頼らざるを得ないことです。

まずは、日帰りで利用できる施設を駒ヶ根市に作るため、4月からクラウドファンディングで寄付の募集を開始しました。息子の死がなければ子どもホスピスについて関心が高かったこの活動を、多くの方に知ってもらうためには情報発信をしていくことが大切」と話してくださいました。

ホスピス設立への道筋が確かなものになった時、息子さんに報告することを決めているそうです。（本木）

中信美術会

代表者：矢野口 靖

HP：http://www.chubi.jp（過去の展覧会の写真掲載あり）

Facebook：中信美術会

中信美術会は戦後間もない1948年(昭和23年)に美術団体として発足し、今年で74周年を迎えました。松本市美術館を拠点に活動し、現在会員は約300名。代表の矢野口さんに取材をさせていただきました。

「この会は地域の芸術・文化の振興を目指し活動していて、主な活動は中信展、夏季美術講習会・ワークショップ、長野県展の3つがあります。

『中信展』は洋画・日本画・彫刻・工芸の4部門に分かれており、年に1度、中信地区在住者から作品を公募していますが、近年はコロナと美術館の改修工事があり開催できていませんでした。今年は2年ぶりの開催を企画していて、何としても実現させたいと思っています。ワークショップ・講習会は規模を小さく開催してきましたが、今年度はコロナに配慮しながらも例年通りの日程を予定しています。『ワークショップ』は工芸に興味のある方への導入として体験講座を行い、『夏季美術講習会』は基礎的な勉強の機会とし、各々の資質向上のためのデッサン会を行っています。また、洋画部門の『作品研究会』では作品を持参してもらい、制作で悩んでいる方へのアドバイスも行っています。どの企画も誰でも参加が可能で、毎年参加される方もいて年々技術の向上を感じています。



がないという事は作家のモチベーションを下げてしまい、また、人の繋がりが薄くなることで会全体の衰退に繋がるのではと危惧しました。発表の場を設け続け、実際に鑑賞し合い交流を図ることが制作意欲に繋がり、会が盛り上がることになり、交流や企画を通じて美術に関心を持つ人が増え、若い世代に興味を持ってもらうことが将来的に会に必要な事だと考えています。

今後の活動としては、企画を万全の態勢で行えるようにする事と、以前の中信美術会の活気を取り戻せるよう、停滞した2年間分も含め、人のつながりを大切にしていきたいと思っています。音楽のセッションのように年代にとらわれず気軽に語り合えるような環境を作りたいですし、地域の人はもちろん、これから美術を始めたいという方にこの中信美術会があるという事を知ってもらえたらと思っています。」

美術というと難しく構えてしまう方もいるかもしれませんが、会では興味のある方への体験会や企画を幅広く行っています。是非参加してみたいかでしょうか？生涯の趣味と出会える素敵な機会かもしれません♪（奥寺）

(※各企画の日程は裏面のイベント情報に記載があります。)

支える人たち

会員制オープンオフィス『SENSE』

末次 克洋さん

松本市両島にあるコ・ワーキングスペース『SENSE』。SENSE（センス）は、自分の人生を自分の足で歩いて行く、「あなただけの人生を歩む人たち」の集う場所になっています。そんな SENSE では、毎月「メンタリングサロン読書会」を開催しています。

メンタリングサロン読書会の活動について、主宰の末次克洋さんにお話をうかがいました。

一活動をしようと思ったきっかけは？

今の社会の中に、ひとつの物事に対して、人と人がお互いの視点や意見を否定しないで、そのまま受け入れて、全体像を立体的に見ることができる「対話」という話し方を学んだり、体験する場が少ないと感じ、そういった場を作りたいと思い、活動を始めました。

一どのような活動をされているのですか？

月に一度、自分の心を整え、今すべき一步を見つける、「メンタリングサロン読書会」を開催しています。



一具体的にはどのようなことをするのでしょうか？

まず前半は、最近一カ月に起きた出来事の振り返りをします。ここに、このメンバーが集まったことに意味があると考えて、共通することをみんなで見つけていきます。すると、今日のテーマが何となく見えてきます。

後半は、持ち寄った本の言葉を元に、テーマを深めていきます。本を読むと言うよりは、眺めて、目に止まった言葉をヒントに発想を広げます。

この気づきをみんなでシェアして、深めていきます。最初は、小さな行動へ落とし込んでいきます。

一活動し始めてみて、気づいたことはありますか？

何かの役割（親だったり、子供だったり、上司だったり、部下だったり）を離れて、一人の人間として自分自身を見つめる時間の大切さや、求めている人がいることに気づきますし、対話によって人が成長していく姿を見ます。



一活動を通じて、知ってほしいことは何ですか？

一人一人が違うことに意味があること、違う役割があることを体感し、自分自身の感覚を大切に生きていく人が増えたら良いと思います。

一どんな方に参加してほしいですか？

今の自分の状況を整理したい。忙しくて時間が取れない。これからの自分を見つめ直したい。そんな方は、メンタリングサロンへお越しください。

【連絡先】

<https://beownsense.com>

<https://www.facebook.com/beownsense>

【読書会案内】

<https://www.wagamamalive.com/mentoring-salon/>

今の自分の状況を整理したい、見つめ直す時間を作りたい、そんな時に、メンタリングサロン読書会へ足を運んでみたいと感じました。（インタビュアー：林）

■ イベント情報・ボランティア募集情報

【中信美術会】 イベント案内

○ 中信美術展

日本画・洋画・彫刻・工芸の作品展覧会
 会期：7月2日～10日 ※4日(月)は休館日
 会員・ジュニア・一般から作品を公募します。
 作品締切・搬入：6月25日 会場：松本市美術館

○ 「工芸」ワークショップ

沈金、蒔絵、染め、織り、木工、陶芸の体験教室
 7月5日、6日、7日 時間：午前中
 会場：松本市美術館 市民アトリエ・講座室

○ 夏季美術講習会

日時：7月27日～31日「裸婦モデルのデッサン」
 昼の部 13:00～16:00 夜の部 17:30～20:30
 会場：松本市美術館市民アトリエ・講座室

問合せ：中信美術会 事務局 古畑(090-3069-6466)

【ふれあいサロン 夏】

日時：令和4年7月14日(木)

販売会：10:30～12:50 お弁当や焼き菓子など

交流会：13:00～14:00 木島知草さんによる人形劇

会場：松本市市民活動サポートセンター

参加費：無料、どなたでもご参加いただけます。

主催：ふれあいマーケット事務局(松本市元町2-7-13)

問合せ：市民活動サポートセンター TEL：0263-88-2988

※新型コロナウイルス感染状況により、中止する場合がありますのでご了承ください。

■ サポートセンターより

登録情報確認のお願い

いつも松本市市民活動サポートセンターをご利用いただき、ありがとうございます。新年度となりましたので、現在のお届け内容のご確認をお願いいたします。

変更・廃止等ございましたら、同封いたしました登録団体申請書にご記入のうえ、郵送、FAXまたは窓口までご提出ください。変更がない場合は、確認書に署名をしてご提出ください。詳しくは、同封いたしました別紙をご覧ください。

なお、松本市のHPから、登録団体申請書をダウンロードしていただけますので、メールでのご提出も承っております。今後、代表者の変更等、登録内容に変更が生じた場合等は、随時変更申請をしていただきますよう、ご理解ご協力をお願いいたします。

新スタッフ紹介

去る3月31日で松本市役所を定年退職し、4月からお世話になっております。現役時代に平成29年度から3年間勤務していましたが、世のため、人のため活動する皆様方のお手伝いが出来ればと思い、改めてスタッフに加えていただきました。

どうぞよろしくお願いいたします。(田村明彦)

要申し込み

【7月 里親相談会 in 松本】

会場：松本市市民活動サポートセンター

日時：令和4年7月31日(日)

10:00～15:00 (最終受付時間 14:30)

内容：里親ってなあに？
 養子縁組と違うの？
 養育費は？
 実子がいても大丈夫？ 等
 気になることに丁寧にお答えします。(相談無料)

受付：新型コロナウイルス感染防止の為、相談会は要申し込みとさせていただきます。

問合せ/申し込み：松本赤十字乳児院

TEL：0263-31-5206 (平日9時～17時)

*会場への直接のお問合せはご遠慮ください

【ボランティア募集情報】

SADサークル Nagano あがり症の交流会

ボランティア募集!

内容：軽いあがり症～過度な緊張症(社交不安症)の方向け、サークル活動♪

対象：トークにランチ&カフェ巡りを楽しんで下さる方。定期継続参加できる方。

10代～40代

日時：毎月第2・4日曜日

フリートーク：13:00～15:00

会場：松本市市民活動サポートセンター

月会費：ボランティアも500円(学生免除)

申込み・問合せ：SADサークル Nagano

TEL：090-6539-1363(宮下)

Email：sad_nagano@yahoo.co.jp

編集後記

新年度がスタートしました。昨年度実現できなかった市民活動セミナーや市民活動フェスタの開催を控え、慌ただしく準備を進めております。興味がありましたら、ぜひご参加ください。よろしくお願いいたします。

さて、私事になりますが、この度、地域づくり課へ異動することになりました。今までお世話になった皆さまには本当に感謝しています。サポートセンターへ来て6年目でしたが、窓口で声を掛けてもらえることがとても嬉しく、つい話し込んでしまうこともありました。活動している皆さんの姿を見て私も元気をもらっていました。頼りなく申し訳ない気持ちでいっぱいですが、本当にお世話になりました。ありがとうございました。(犬飼)